

いいね！いぬやま総合戦略 2025-2030(案)についてのご意見の内容と市の考え方

| | |
|------|---|
| 計画名 | いいね！いぬやま総合戦略 2025-2030 (案) |
| 募集期間 | 令和7年1月28日(火)～2月28日(金) |
| 公開場所 | 市役所本庁舎1階市民プラザ、市役所本庁舎4階企画広報課、各出張所(城東・羽黒・楽田・池野)、シンエイライフ犬山ライブラリー(市立図書館)、保健センター、市民健康館、市ホームページ |
| 意見数 | 5件 |

| いただいた意見・提案【1】 | 市の考え方【1】 |
|---|--|
| <p>私は約40年前、33歳頃に犬山に転入してきました。</p> <p>喘息で杉並区健康学園(下田市)いた息子と、もう別居生活はやめたい、という思いで、実家を訪れたとき、近隣市町をドライブしてどこが住みやすいか考えました。</p> <p>尾張地域をあちらこちら巡り、息子は「山があって、川があるところ」と自然豊かな犬山を選んだのです。私たち夫婦もそれを重視し、子育て環境について調べました。</p> <p>私もずっと働いてきたので、保育園、児童館、学童保育は必須でした。調べてみると学童保育が全小学校区にあること、これは電話で問い合わせたときに耳を疑ったほどです。子どもは学童保育があるので、安心。あとは私の職場探しです。それも運よく見付き犬山に喜んで引っ越したのです。</p> <p>石田市長時代には、全国統一学力テストをしないとして、一躍有名(?)になりました。他府県の人からも、「犬山の教育」について褒められることが多かったです。</p> <p>保育園も公立園が多く、保育内容についても近隣市町の公立保育士から犬山の保育の良さを聞くことが多くありました。</p> <p>喘息の息子も、早朝からの山歩きで体力づくり、おかげで喘息からも解放されました。</p> | <p>新たな総合戦略では、基本目標として「暮らしたいまち」「活躍したいまち」「訪れたいまち」の実現を目指しています。その中で、「今後も犬山市に住み続けたいと考える市民の割合」をKPI(事業評価を行う指標)の一つに設定し、2030年には市民の93%の方が「住み続けたい」と思っていただけることを目標としています。</p> <p>目標の達成に向けては、26ある重点事業の中で、コミュニティバスをはじめとする「公共交通ネットワークの連携(交通弱者等への対応)」や市民健康館など「健康市民づくりの推進」も、今後チャレンジする主な取り組みとして位置づけており、多方面から必要な施策を検討していきます。</p> <p>なお、コミュニティバスについては、現在の利用状況や地域の要望を踏まえて、令和8年12月に路線・ダイヤ等の見直しを行う予定です。</p> <p>また、「文化創造の機運を高める事業の推進」も、今後チャレンジする主な取り組みのひとつであり、市民文化会館につきましても、自主事業を再開しており、令和7年度も多く市民にご満足いただける質の高い舞台公演の開催を予定しています。</p> <p>子育て環境に充実につきましても、子どもたちが健やかに育つことができる環境整備や取組みが「暮らしたいまち」の実現には必要であるとの認識から、新たな総合戦略においても重点事業に位置づけ、多様なニーズへの対応とサポート体制の充実を行ってまいります。</p> |

そんなふうで犬山市を誇りに思うほどでしたが、最近、公立園を民間委託する、児童クラブや児童センターの統合・民間委託の方向が出されているようで、とても残念に思います。

住んでよかったと思える町は、住民が大切にされていることを実感できる町。

住居・保育園・学校・職場が近い事。犬山市内には大きな企業はありませんが、働く場所は企業だけとは限りません。高齢化が進んでいるので介護関係をはじめとする福祉職場は、多くの人材を必要とします。介護施設はこのところ財政状況が悪く、撤退するところも多いと聞きます。特に企業経営だと儲けが上がらなければ即、撤退です。長生きしても安心して住み続けられる犬山に。コミュニティバスの充実、さらさら健康館の充実。

また市民文化会館がありながら、近隣市町に比べ行ってみたいと思われる演目が無い事。そういうことに精通した職員を育成し、住民が豊かな気持ちで生きられるように。

犬山市職員が、住民の幸せを願い、生き生きと働ける職場づくりを進めることが住みやすい犬山市になるような気がします

| いただいた意見・提案【2】 | 市の考え方【2】 |
|---|--|
| <p>昨年から岐阜バス明治村線の朝夕の通勤時間帯のダイヤが無くなってしまい、通勤客や通学の学生達が大変困ってしまっています。ワン丸君バスを利用しようとしても通勤通学には時間がかかり過ぎて無理なので、お母さんに送迎してもらっている子供さんもみえます。</p> <p>また、色々町起しをしようと頑張っている中で、近隣都市に通学通勤も出来なければ、そんな地域に住みたいという人が減少して行き過疎化の一途を辿ります。</p> <p>わん丸君バスを通勤時間に明治村線に増発して頂けないものでしょうか。</p> | <p>岐阜バス「明治村線」減便に対する手段として、令和6年12月より、令和8年3月までを運行期間として公共ライドシェアを実施しています。この事業は、平日の午前6時～午前7時30分、午後6時～午後7時30分の時間帯に、岐阜バスのバス停を利用し、犬山駅東口から長者町団地南まで市が用意した車両で、乗客を運送する事業です。</p> <p>基本目標「暮らしたいまち」では、今後チャレンジする主な取り組みのひとつとして「公共交通ネットワークの連携（交通弱者等への対応）」を位置づけています。公共ライドシェアやコミュニティバスなどの各事業の利用状況等を考慮しながら、公共交通の今後の在り方を検討していきます。</p> |

| いただいた意見・提案【3】 | 市の考え方【3】 |
|---|---|
| <p>犬山らしい教育について意見を述べさせていただきます。</p> <p>読解力向上に加え、人口増加を目標に、犬山に住みたい、子育てのために移住してでも犬山に住みたいと思わせるためには、別の視点も導入する必要があると考えます。</p> <p>現在、21世紀型教育として、非常に注目を浴びているのは、名古屋市が採用しているイェナプランや、日本全国から注目を浴びている長野県伊那市の探求型教育、立教大学やお茶の水大学付属学校等で全国でも先駆けて取り入れられている哲学対話などの試みが挙げられます。犬山独自の「対話的探究的教育」をぜひ検討し、「いぬやま総合戦略 2025-2030」に含ませてはどうかと考えます。</p> <p>そして、この「対話的探究的教育」を生み出し、下支えするものが、「子どもの権利」、そして、自己と他者の境界を知り、尊重することを伝える、低年齢期からの成長段階に応じた「包括的性教育」だと思います。</p> <p>こうした教育についての考え方が総合戦略にも組み込まれ、市としても意識的に取り組まれ、さらにそうした取り組みが、子育て世代の親にきちんと発信されれば、犬山で子育てをしたいという層を犬山に呼び寄せることができる（移住）ほか、こうした教育を受けることによって、市民の対話的環境が醸成され、未来のまちづくりを担う市民の育成にもつながることと考えます。ぜひご検討ください。</p> | <p>犬山市では、令和4年度に犬山市教育基本大綱（対象期間：令和5年度～令和9年度）を策定し、「感性豊かな人づくり」を基本理念に掲げ、「まなぶ」「つながる」「つくる」の視点を重視して取り組みを進めています。</p> <p>この基本理念は、「学びのまち」を実現することが求心力となって、市内に住む人が「ずっと暮らしていきたい」、市外の人が「訪れたい」「ここで暮らしたい」と思えるまちになることを目指すが故の考え方であり、新しい総合戦略でも、基本目標「活躍したいまち」の実現に向けて、犬山らしい教育をすすめることを重点事業としています。</p> <p>また、令和7年度からは新たに「子どもの権利条例」の策定に取り組んでまいりますので、今後も引き続き、「感性豊かな人間づくり」につながる教育施策に対する検討や取り組みを行い、またそれらの施策を地域の魅力として発信していけるよう努めていきます。</p> |

| いただいた意見・提案【4】 | 市の考え方【4】 |
|--|--|
| <p>市民健康館について</p> <p>我が家から5kmも離れていないのですが、運転をやめてからはひとりで行くことはありません。名古屋に在住の長男が月に2回程連れて行ってくれますので楽しみにしている88才です。私の宝物は、犬山の自然の他に「コミュニティバス」と「さら・さくらの湯」です。</p> <p>○さら・さくらの好きなおところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンプル（入場、湯ぶねまでのアクセス）・建物が美しく快的（芸術的文化的価値あり） ・湯ぶね回りが歩き易く年寄りにも使用し易い。 ・サウナの機能優れている（長男の意見）・山の中の温泉場に劣らない静けさを味わえる。 <p>○さら・さくら（健康館）に望むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集客のため、ジムの設備をとり入れたらどうか。 ・庭にキッズパークをつくったら。 ・災害時に役立つ重要な拠点になることを行政として認識する必要ありでは？ <p>広報活動</p> <p>広く市民に知らせてほしいと思うことを市民から意見を募ってほしい。</p> <p>例えば「さら・さくらの湯」について、「新郷瀬川の多自然河づくり」「モンキーさんのレポート」もいいのですが、市民からの声を寄せあったらどんなにいいでしょう？！</p> <p>（まず、パブリックコメント記入場所が階段下の暗いところでイスもなく、広く市民に呼びかけていると思えないのが残念です。）</p> <p>（1）人口のみにとらわれる計画ではなく</p> <p>人口10万人都市にするとあって県下で有数の貴重な森を削って団地を作ったのは失敗だったと当時の市町さんが反省しておられる</p> | <p>新たな総合戦略では、コミュニティバスをはじめとする「公共交通ネットワークの連携（交通弱者等への対応）」や市民健康館など「健康市民づくりの推進」を、「今後チャレンジする主な取り組み」として位置づけており、今後多方面から必要な施策を検討してまいります。</p> <p>中でも、コミュニティバスは、現在の利用状況や他の交通施策の利用状況等を見ながら、令和8年12月の再編に向けて検討を行う予定です。</p> <p>また、市民健康館は、健康・福祉に関するさまざまな情報を総合的に案内し、市民に啓蒙していく健康福祉施設としての位置づけのもと、開館から20年を経過し、施設内にあります入浴施設「さら・さくらの湯」は、大規模修繕の時期を迎えていますので、今後の施設の在り方を検討していきます。</p> <p>なお、当施設は、発災時には自宅で生活ができない人が一定期間生活する場として活用できる指定避難所に指定しています。</p> <p>犬山市の豊かな自然は大切な財産であり、大切な地域資源ですので、第6次犬山市総合計画（計画期間：令和5年度～令和12年度）では、今後の土地利用として、自然環境の保全と活用を図り、人の暮らしと自然が共生する環境づくりを目指すこととしています。</p> <p>また、犬山市には、自然環境をはじめ多くの地域資源があります。</p> <p>したがって、基本目標「訪れたいまち」の、「今後チャレンジする主な取り組み」として「市ホームページやSNSなどによる効果的な情報発信」「シティプロモーションの強化・充実」を位置づけたところです。し、令和7年10月号からデザインなどのリニューアルを予定している市広報紙についても、市民や事業者の方の声を大切に、まちの魅力を市内外に積極的に発信していけるよう取り組んでまいります。</p> |

のを忘れてはなりません。

- (2) あと数千年もすると全国で“子どもがひとりになる！”という試算です。今こそ次世代を守るという点で環境政策を重視すべき。
- (3) 虫も鳥も激減、人類の生存さえあやぶまれる今日、エネルギー問題、農業問題（米作り時給 10 円）再生可能エネルギーにとりくむべき。
- (4) 防災の施設が大切では、市民健康館は防災マップには一切出てきません。ぜひ防災の立場からこの施設を重要視してほしい。
- (5) 城下町が賑わって大変良いことですが、これも市民の運動で道路拡張を阻止したからではと思いますが、いかがでしょうか？旧犬山の本当の宝物は自然です。オオキンケイギク駆除、新郷瀬川河川を守るのに苦慮しています。

| いただいた意見・提案【5】 | 市の考え方【5】 |
|---|--|
| <p>パブリックコメントを送ろうと思いついたときに pdf や word などダウンロード、提出、というワンクッションがあり、手間のため見送ることが多々あります。このご意見メールのように、確認したら WEB からコメントできるようにならないでしょうか？</p> <p>「誹謗中傷や暴力的なコメントは控えてください」など、注意書きも添えていただければ酷い結果にはならないかも……と思います。</p> <p>WEB からコメントできるならば若い方の参加も増えそうです。</p> <p>そちらのシステムを知らないで勝手申し上げてしまいました。ご検討いただけるのであれば、何卒よろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>企画広報課企画担当さんの「いいね犬山」このたびの資料とてもよかったです。ママたちと、これからこうなったらいいのねと話していたこと（図書館、商業施設、空き家など）があり、市の目指す方針もしっかりとしていて理想的でした。</p> <p>楽しく読ませていただきました。</p> | <p>ウェブサイトを通じた意見提出につきましては、今後のパブリックコメントでの導入に向けて検討を進めていきたいと思ひます。</p> <p>また、新たな総合戦略を策定しました後は、職員一同、市民のみなさまと一緒に、市民のみなさまにとって、犬山市が目指す「豊かさが実感できるまち」を実現するよう、取り組んでいきます。</p> |